

2019年

3月23日(土) + 6月16日(日)

静岡市立登呂博物館 2階 特別・企画展示室

開館時間 | 9:00 - 16:30

休館日 | 月曜日・祝日の翌日(4/27-5/6は毎日開館)

観覧料 | 一般300円 高大生200円 小中学生50円

企画展

石をつかった、土器をつくった。

—静岡市の旧石器・縄文時代—

# 石をつかった、土器をつくった。



参加体験ミュージアム!

ですが、市内には五百を超える様々な時代の「遺跡」があり、私たちの住んでいる場所には多くの先人たちが生活を営んできました。今回から始まる「静岡市の歴史」シリーズでは、今まで静岡市が発掘した遺跡から、それぞれの時代を紹介していきます。

まずは、静岡市の旧石器時代と縄文時代を紹介します。旧石器時代の遺跡は市内には数えるほどしかありませんが、縄文時代の遺跡は意外なほどたくさんあります。



町屋遺跡出土石器 (静岡市教育委員会蔵)

## 関連イベント

### 講演会「黒曜石はどこから来たか」

旧石器時代から使われ続けた黒曜石。その利用と産地分析から、人の移動や交流など、当時の社会に迫ります。

日時：4月21日(日) 13:30 - 15:00

会場：静岡市立登呂博物館 1階 登呂交流ホール

料金：100円

定員：60名(要予約・先着順)

3/23(土) 9:00より登呂博物館にて受付開始

(Tel.054-285-0476 / Fax.054-287-1466)

講師：池谷信之(明治大学黒曜石研究センター)

### ワークショップ「黒曜石オリンピック」

黒曜石を鹿の角で割って、石器を当時のやり方で作ってみよう！  
 登呂遺跡を拠点にする団体、「登呂会議」との協働プログラムです。

日時：5月18日(土) 13:00 - 16:00

5月19日(日) 10:00 - 16:00

会場：静岡市立登呂博物館 1階 登呂交流ホールほか

内容：1日目…鹿の角から黒曜石を割る道具を作る。

2日目…海岸まで歩き石を拾う。

黒曜石を割り、自分だけの石器をつくる。

料金：3,000円程度

定員：15名(要予約・先着順、小学生5年生以上)

3/23(土) 9:00より登呂博物館にて受付開始

(Tel.054-285-0476 / Fax.054-287-1466)

講師：佐藤祐輔(仙台市縄文の森広場)

坂田尚子(ふじのくに地球環境史ミュージアム)

### 展示解説

当展示の魅力や見どころを解説します。

日時：3/23(土)、4/13(土)、5/4(土)、6/1(土)

11:00 - 11:30 / 14:00 - 14:30

会場：静岡市立登呂博物館 2階 特別・企画展示室

料金：無料(要観覧券)

# 私たちの足元には、どんな歴史があるのだろうか？



阿僧遺跡出土土器 (静岡市教育委員会蔵)

旧石器時代(36,000年前)の人々は遊動的な生活をし、石器文化が盛んで、驚くほど精緻な細石刃を作りました。縄文時代(16,000年前)になると細石刃は廃れ、定住し、土器を作るようになります。その違いは、多くの生活の変化をもたらしました。さらに、縄文土器のその奇抜な格好は現代の人々をも惹きつけます。

また、旧石器・縄文時代で共通したこともありました。そのうちのひとつが、好んで黒曜石という石材を使って石器を作っていたことです。この黒曜石は特殊な石で、とても鋭い石器になります。

現在は静岡と呼ばれるこの地域で、当時の人々はどうのように暮らしてきたのでしょうか。

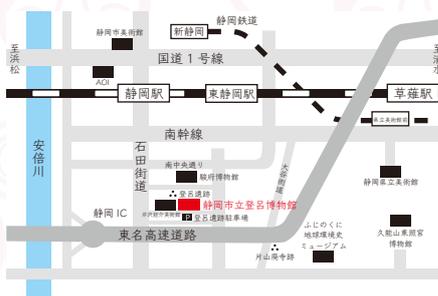


清水天王山遺跡出土土器・土製品・石器 (静岡市教育委員会蔵)

\* 静岡県指定有形文化財

## アクセス

表紙写真：(土器,左から)阿僧遺跡出土土器,割田原遺跡出土土器,今泉1遺跡出土土器,阿僧遺跡出土土器(2点)  
 (石器,左から)割田原遺跡出土石斧(2点),割田原遺跡出土石匙(2点),町屋遺跡出土石斧,町屋遺跡出土石核



### 車

東名高速静岡 IC から約 10分 駐車場(有料)有

### バス

JR 静岡駅南口から約 10分  
 しずてつジャストライン「登呂遺跡」行きバス終点下車

参加体験ミュージアム!



静岡市立登呂博物館  
 Shizuoka City Toro Museum



〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂 5-10-5  
 Tel.054-285-0476 Fax.054-287-1466  
<http://www.shizuoka-toromuseum.jp/>